

1 ICT教育推進の取り組みについて

(1) 飯塚市 ICT 推進委員会

目的	誰一人取り残すことなく公正で個別最適な学びを実現するため、各学年や各教科における ICT の活用によって充実するモデル学習例の作成・活用を通して、各小中学校の全児童生徒にスムーズに学習用タブレット端末を導入できるようにする。
構成	令和3年度委員 13名（任期：令和3年4月～令和4年3月末日） 内訳 大学：2名（九州工業大学情報工学研究院、近畿大学産業理工学部 各1名） 教職員：6名（ICT教育推進モデル校3校の校長及び情報担当教員 3校×2名） 事務局：5名（学校教育課長、学校教育課主幹指導主事、ICT推進室3名）
協議・活動内容	ICT推進委員の大学の先生より、個別最適な学びに関する授業の在り方（授業内容・方法）について指導助言をしていただき、学習用タブレット端末を活用した授業の在り方について協議する。また、授業実践による実証を行い、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた ICT の活用の在り方と授業実践例について内容を検討・協議していく。

(2) ICT 教育推進モデル校事業

① 目的及び実施内容等

目的	ICT を活用した児童生徒 1 人 1 人の実態や学習状況の分析、蓄積、評価等を行い、個人の進度や能力に応じた学びの場を提供し、各教科・領域等における資質・能力の効果的な育成に資する教育活動の在り方を究明する。
モデル校	3校：小学校2校、中学校1校 飯塚市立幸袋小学校、飯塚市立上穂波小学校、飯塚市立幸袋中学校
実施内容	学習用タブレット端末を活用した学習形態や学習評価等の教育効果の検証。また、指導方法や活用方法の開発等に取り組み、その成果と課題を市内に広く公表する。

②モデル校期間（令和2年9月～令和5年3月）

<p>令和2年度 【第1段階】</p>	<p><u><ICTを日常的に活用できる環境整備と校内推進体制を構築する></u> (例) ○検索サイトを活用して調べたり、文章作成ソフトを活用したりして自分の考えをまとめ、共有（保存・提出）することができる。</p>
<p>令和3年度 【第2段階】</p>	<p><u><学習活動での効果的な活用を、市内へ中間報告として発表する></u> (例) ○各教科等での学習過程を踏まえ、収集したデータ・資料等を基に統合したり、深く分析したりして繰り返し試行錯誤し、協働して問題解決をすることができる。 ○個々の特性に応じて、習熟の程度や誤答傾向に応じた児童生徒用端末学習ドリル等を活用し、各自のペースで学習を進めることができる。 ○音声・発音・書写・運動・演奏などの活動の様子を記録・再生して、自己評価に基づいて繰り返し練習を行うことができる。</p>
<p>令和4年度 【第3段階】</p>	<p><u><第1、2段階の実践結果を検証し、市内外に最終報告として発表する></u> (例) ○各教科等での学習過程を踏まえ、収集したデータ・資料等を基に統合したり、深く分析したりして繰り返し試行錯誤し、協働して問題解決をすることができる。 ○動画・アニメーション・音声を含むデジタル教科書・教材等を活用し、課題提示、発表・説明等ができる。 ○写真・動画・音声等のマルチメディアを用いて多様な表現を取り入れた資料や作品を制作し、プレゼンすることができる。また、互いに評価することができる。 ※ ICTを用いた学習活動の評価について一方策の提案を行う。</p>

③モデル校事業実施の基本的な考え方

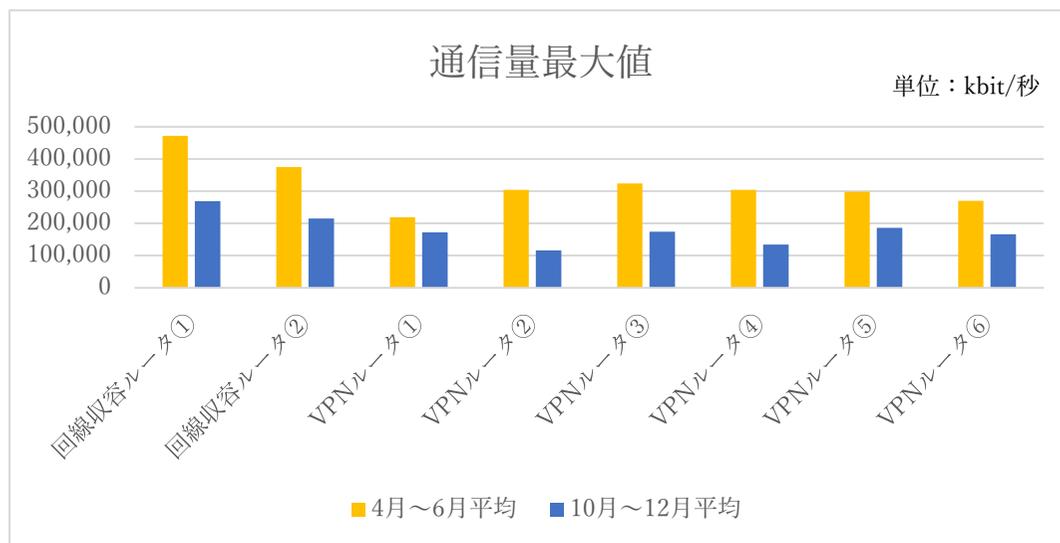
- 授業における活用にあたっては、ICTを活用することが目的にならないように、従来のノートや鉛筆等と同様に一つの道具・手段として、ICTを効果的な場面で活用する。
- 導入初期段階においては、機器やネットワークのトラブル、必ずしも効果的ではない活用、機器の管理面の問題など、様々な問題・課題が発生することが予想される。モデル校においては、こうした各種機器及びソフトウェアの使い勝手等の情報を幅広く収集・蓄積し、蓄積した情報は市内全小中学校で共有し、同様の問題発生防止やより効果的な活用方法の参考情報とする。
- 全ページの3段階のスケジュールで目標に向かって、教員及び児童生徒の操作スキルに応じた活用を進める。

(3)研修体制

	研 修	対象者及び開催回数	内 容 等
市 主 催	情報教育担当者研修会	各小中学校の情報教育担当者 (年2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力等の資質・能力についての理解に関する研修 ・情報活用能力を育成するためのカリキュラム・マネジメント研修 ・単元・授業の開発に関する研修
	ICT活用教育研修会	各小中学校の校内研修担当者 (年3回)	ICT活用指導力の向上を図るための体制を構築するため、「校内研修リーダー」を養成する研修の実施
県 主 催	ICT活用基礎研修	各学校希望者 (年2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット上の動画やプレゼンテーションソフトの利活用 ・端末に応じた協働学習 ・情報モラル、著作権等
	ICT活用中核教員対象研修	情報教育担当者等、各学校1名 (年2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用能力向上に係る校内研修 ・学習支援ソフトを活用した授業づくり
	道徳教育研究協議会	新任道徳教育推進担当教員 (年2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル、情報セキュリティ、規範意識等
	ICT支援リーダー研修	各市町村教育委員会1名 (年1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT化推進に係る環境整備 ・地域内を結ぶオンライン化
	ICT活用管理職対象研修	各学校管理職1名(年1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のICT化を推進する管理職の役割

2 通信状況について

①外部データセンター通信量の最大値の比較（ネットワーク構成の変更前と変更後）



②外部データセンター通信量の平均値の比較（ネットワーク構成の変更前と変更後）

